



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年11月7日

上場会社名 ジェイリース株式会社 上場取引所 東
コード番号 7187 URL <https://www.j-lease.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中島 土
問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務兼専務執行役員経営企画本部長 (氏名) 中島 重治 (TEL) 03-5909-1245
四半期報告書提出予定日 2023年11月7日 配当支払開始予定日 2023年12月1日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	6,087	16.1	1,104	△9.3	1,105	△8.5	760	△9.4
2023年3月期第2四半期	5,244	20.0	1,217	37.8	1,207	39.1	839	44.2

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 760百万円(△9.4%) 2023年3月期第2四半期 839百万円(44.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	85.60	84.83
2023年3月期第2四半期	94.28	93.30

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	10,235	3,910	38.2
2023年3月期	9,755	3,460	35.5

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 3,910百万円 2023年3月期 3,460百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	25.00	—	35.00	60.00
2024年3月期	—	35.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	35.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,460	13.7	2,600	5.5	2,570	4.2	1,730	3.8	194.67

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) - 、除外 一社(社名) -

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年3月期2Q	8,938,400株	2023年3月期	8,934,400株
2024年3月期2Q	50,096株	2023年3月期	51,096株
2024年3月期2Q	8,885,804株	2023年3月期2Q	8,907,278株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

(注) 期末自己株式及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式数には、株式給付信託(BBT)が保有する当社株式を含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法について)

決算補足説明資料はT D n e tで同日開示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書.....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10
(収益認識関係)	11
(重要な後発事象)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済環境は、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあり緩やかな回復が続くことが期待されるものの、世界的な金融引締めに伴う影響や中国経済の先行き懸念等、海外景気の下振れによる国内景気の下押しリスクや、物価上昇、供給面での制約、金融資本市場の変動等の影響が残る状況となりました。

賃貸不動産業界におきましては、入居需要は底堅く、加えてオフィスやテナント等、事業用物件に対する賃料保証のニーズが増加傾向にあります。

このような環境の下、当社グループは、地域密着を基本とした顧客（不動産会社、賃貸人、賃借人）に寄り添った丁寧な対応を徹底し、与信審査及び債権管理業務の強化を継続するとともに、プロモーションや人材への戦略投資に取り組んでまいりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は6,087,224千円（前年同期比16.1%増）、営業利益は1,104,554千円（前年同期比9.3%減）、経常利益は1,105,329千円（前年同期比8.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は760,659千円（前年同期比9.4%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

（保証関連事業）

売上面では、住居用賃料保証における外部企業や業界団体との連携が奏功し、新規取引が拡大するとともに、出店エリアでの顧客の囲い込み、地域密着営業やニーズへの対応等が進みました。事業用賃料保証は、市場が拡大する中、営業活動も順調に進み、堅調に売上拡大いたしました。

経費面では、事業用賃料保証における認知度の向上を目的としたプロモーションや、給与のベースアップ等による人的資本への戦略投資を計画通り行いました。

医療費保証業務においては、引き続き販路拡大と営業強化に取り組み、新規取引が拡大いたしました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の保証関連事業の売上高は6,018,485千円（前年同期比17.5%増）、営業利益は1,113,108千円（前年同期比8.6%減）となりました。

（不動産関連事業）

不動産仲介・管理業務及び不動産賃貸業務においては、外国籍の方々に対するサービスを中心に展開しており、売上構成の最も高いマンション運営収入は堅調に推移いたしました。しかしながら、前第2四半期の販売用不動産売却の反動もあり、減収となりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の不動産関連事業の売上高は72,415千円（前年同期比42.5%減）、営業損失は8,553千円（前年同期は営業利益468千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債、純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産につきましては、前連結会計年度末比479,920千円増加し10,235,833千円となりました。これは主に、代位弁済立替金の増加551,001千円、現金及び預金の増加318,321千円、収納代行立替金の増加213,559千円、未収保証料の減少381,995千円、未収入金の減少359,988千円によるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末比29,087千円増加し6,324,969千円となりました。これは主に、前受金の増加126,196千円、未払法人税等の減少142,523千円によるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末比450,833千円増加し3,910,863千円となりました。これは主に利益剰余金の増加447,962千円によるものであります。

これらにより、自己資本比率は前連結会計年度末比2.7ポイント増加し38.2%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末比318,321千円増加し1,519,382千円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による収入は、765,111千円(前年同期は634,605千円の収入)となりました。主な増加要因は、税金等調整前四半期純利益1,105,329千円、売上債権の減少377,602千円によるものであります。主な減少要因は、代位弁済立替金の増加560,639千円、法人税等の支払額454,171千円、収納代行立替金の増加213,559千円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による支出は、149,624千円(前年同期は71,250千円の支出)となりました。主な要因は、無形固定資産の取得による支出60,817千円、有形固定資産の取得による支出55,086千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による支出は、297,165千円(前年同期は512,610千円の支出)となりました。主な要因は、配当金の支払額312,697千円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の業績予想につきまして、当第2四半期連結累計期間における業績は概ね順調に推移しており、2023年5月9日付「2023年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想から変更はありません。

なお、業績予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,201,061	1,519,382
未収保証料	1,356,312	974,317
未収手数料	65,851	70,313
未収入金	578,971	218,983
代位弁済立替金	5,113,651	5,664,652
収納代行立替金	967,667	1,181,227
貯蔵品	15,167	13,869
販売用不動産	27,247	65,286
その他	169,305	267,977
貸倒引当金	△1,810,300	△1,865,700
流動資産合計	7,684,935	8,110,309
固定資産		
有形固定資産	347,171	372,858
無形固定資産	223,931	239,510
投資その他の資産		
繰延税金資産	1,229,139	1,208,909
その他	632,845	675,926
貸倒引当金	△362,111	△371,680
投資その他の資産合計	1,499,873	1,513,155
固定資産合計	2,070,976	2,125,524
資産合計	9,755,912	10,235,833

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
短期借入金	1,260,000	1,297,000
1年内返済予定の長期借入金	6,672	6,672
リース債務	42,876	38,762
収納代行未払金	874,390	878,100
未払金	627,504	696,369
未払法人税等	496,465	353,941
前受金	2,354,385	2,480,581
賞与引当金	169,767	145,062
その他	294,996	236,729
流動負債合計	6,127,058	6,133,218
固定負債		
長期借入金	81,652	78,316
リース債務	20,830	3,080
役員退職慰労引当金	4,072	5,297
役員株式給付引当金	-	32,946
資産除去債務	61,566	71,180
その他	701	931
固定負債合計	168,823	191,751
負債合計	6,295,881	6,324,969
純資産の部		
株主資本		
資本金	717,557	717,683
資本剰余金	292,557	292,683
利益剰余金	2,585,042	3,033,005
自己株式	△135,009	△132,362
株主資本合計	3,460,147	3,911,008
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△117	△145
その他の包括利益累計額合計	△117	△145
純資産合計	3,460,030	3,910,863
負債純資産合計	9,755,912	10,235,833

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	5,244,726	6,087,224
売上原価	1,229,381	1,487,775
売上総利益	4,015,345	4,599,449
販売費及び一般管理費	2,797,699	3,494,894
営業利益	1,217,645	1,104,554
営業外収益		
受取利息	9	12
受取配当金	10	10
受取保険金	-	4,860
補助金収入	1,830	510
償却債権取立益	65	1,199
その他	492	4,374
営業外収益合計	2,408	10,967
営業外費用		
支払利息	10,973	7,957
その他	1,532	2,235
営業外費用合計	12,505	10,192
経常利益	1,207,548	1,105,329
特別損失		
固定資産除却損	0	-
特別損失合計	0	-
税金等調整前四半期純利益	1,207,548	1,105,329
法人税、住民税及び事業税	286,470	324,439
法人税等調整額	81,270	20,230
法人税等合計	367,741	344,669
四半期純利益	839,807	760,659
親会社株主に帰属する四半期純利益	839,807	760,659

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	839,807	760,659
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△16	△28
その他の包括利益合計	△16	△28
四半期包括利益	839,791	760,631
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	839,791	760,631

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,207,548	1,105,329
減価償却費	88,463	91,263
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△99,562	64,968
受取利息及び受取配当金	△19	△22
支払利息	10,973	7,957
売上債権の増減額 (△は増加)	344,360	377,602
固定資産除却損	0	-
代位弁済立替金の増減額 (△は増加)	△110,187	△560,639
収納代行立替金の増減額 (△は増加)	△193,795	△213,559
棚卸資産の増減額 (△は増加)	4,250	△36,740
前受金の増減額 (△は減少)	△32,018	126,196
賞与引当金の増減額 (△は減少)	45,837	△24,705
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△1,840	1,225
役員株式給付引当金の増減額 (△は減少)	-	32,946
収納代行未払金の増減額 (△は減少)	41,332	3,709
株式交付費	378	633
その他	△281,624	251,102
小計	1,024,094	1,227,267
利息及び配当金の受取額	19	22
利息の支払額	△10,909	△8,006
法人税等の支払額	△378,600	△454,171
営業活動によるキャッシュ・フロー	634,605	765,111
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△34,429	△55,086
無形固定資産の取得による支出	△31,540	△60,817
その他	△5,280	△33,720
投資活動によるキャッシュ・フロー	△71,250	△149,624
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△100,000	37,000
長期借入金の返済による支出	△33,360	△3,336
株式の発行による収入	377	-
株式の発行による支出	-	△381
自己株式の取得による支出	△134,766	-
配当金の支払額	△222,996	△312,697
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△21,864	△17,750
財務活動によるキャッシュ・フロー	△512,610	△297,165
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	50,744	318,321
現金及び現金同等物の期首残高	1,022,308	1,201,061
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,073,052	1,519,382

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(役員に対する業績連動型株式報酬制度)

当社は、2022年6月23日開催の株主総会において、当社の取締役（監査等委員である取締役、及びそれ以外の社外取締役である者を除きます。）の報酬と当社の業績及び株式価値との連動性をより明確にし、取締役が株価上昇によるメリットのみならず、株価下落リスクまでも株主の皆様と共有することで、中長期的な業績の向上と企業価値の増大に貢献する意識を高めることを目的として、業績連動型株式報酬制度「株式給付信託（BBT）」（以下「本制度」といいます。）を導入しております。

1. 本制度の概要

本制度は、当社が拠出する金銭を原資として当社株式が信託（以下、本制度に基づき設定される信託を「本信託」といいます。）を通じて取得され、取締役に対して、当社が定める役員株式給付規程に従って、当社株式及び当社株式を時価で換算した金額相当の金銭（以下「当社株式等」といいます。）が本信託を通じて給付される業績連動型株式報酬制度です。なお、取締役が当社株式等の給付を受ける時期は、原則として取締役の退任日の属する月の翌月の25日となります。

2. 信託に残存する自社の株式

信託に残存する自社の株式を、信託における帳簿価額（付随費用の金額を除く。）により純資産の部に自己株式として計上しております。前連結会計年度末における当該自己株式の帳簿価額及び株式数は、それぞれ134,707千円、50,900株であり、当第2四半期連結会計期間末における当該自己株式の帳簿価額及び株式数は、それぞれ132,061千円、49,900株であります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	保証関連事業	不動産関連事業	計		
売上高					
外部顧客との契約から 生じる収益	700,908	121,048	821,957	—	821,957
その他の収益	4,422,768	—	4,422,768	—	4,422,768
外部顧客への売上高	5,123,677	121,048	5,244,726	—	5,244,726
セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	4,836	4,836	△4,836	—
計	5,123,677	125,885	5,249,563	△4,836	5,244,726
セグメント利益	1,217,177	468	1,217,645	—	1,217,645

(注) 1. 売上高の調整額△4,836千円については、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	保証関連事業	不動産関連事業	計		
売上高					
外部顧客との契約から 生じる収益	849,963	68,739	918,703	—	918,703
その他の収益	5,168,521	—	5,168,521	—	5,168,521
外部顧客への売上高	6,018,485	68,739	6,087,224	—	6,087,224
セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	3,676	3,676	△3,676	—
計	6,018,485	72,415	6,090,900	△3,676	6,087,224
セグメント利益又は損失 (△)	1,113,108	△8,553	1,104,554	—	1,104,554

(注) 1. 売上高の調整額△3,676千円については、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項（セグメント情報等）」に記載のとおりであります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。